

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
悪性黒色種におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	<input checked="" type="radio"/> 有・無	13 人
カフェイン併用化学療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
胎児尿路・羊水腔シャント術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
筋過緊張に対するmuscle afferent block (MAB)治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
内視鏡下甲状腺がん手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

(注)1「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

2. 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	113人	・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	96人
・多発性硬化症	80人	・ウェゲナー肉芽腫症	9人
・重症筋無力症	111人	・特発性拡張型(うつ血型)心筋症	118人
・全身性エリテマトーデス	681人	・多系統萎縮症	33人
・スモン	0人	・表皮水泡症(接合部型及び栄養障害型)	2人
・再生不良性貧血	58人	・膿毒性乾癬	10人
・サルコイドーシス	102人	・広範脊柱管狭窄症	4人
・筋萎縮性側索硬化症	7人	・原発性胆汁性肝硬変	40人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	439人	・重症急性膵炎	8人
・特発性血小板減少性紫斑病	164人	・特発性大腿骨頭壊死症	77人
・結節性動脈周囲炎	50人	・混合性結合組織病	88人
・潰瘍性大腸炎	25人	・原発性免疫不全症候群	3人
・大動脈炎症候群	33人	・特発性間質性肺炎	31人
・ビュルガー病	31人	・網膜色素変性症	38人
・天疱瘡	38人	・プリオン病	2人
・脊髄小脳変性症	29人	・原発性肺高血圧症	9人
・クローン病	16人	・神経繊維腫症	12人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	0人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・悪性関節リウマチ	21人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	2人
・パーキンソン病関連疾患	91人	・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	3人
・アミロイドーシス	4人	・ライゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	1人
・後縦靭帯骨化症	31人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・ハンチントン病	1人	合計	2,711人

(注)「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3. 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	病院病理部 150回/1年(週3回)	
剖検の状況	剖検症例数 88例	剖検率 12.4%

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1. 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元
大腸癌の発生、進展および治療感受性に関わる因子の解析	渡邊昌彦	外科	200万	科学技術振興機構
がんの早期診断およびに予後診断に役立つ腫瘍マーカーの開発	渡邊昌彦	外科	120万	厚生労働省がん研究助成金
進行大腸がんに対する腹腔鏡下手術の根治性に関する比較研究	渡邊昌彦	外科	134万	厚生労働科学研究費補助金
糖鎖機能活用技術開発プロジェクト	渡邊昌彦	外科	210万	独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
大腸癌肝転移切除後患者様を対象としたフルオロウラシル/Iーロイコボリンとオキサリプラチン併用補助化学療法(mFOLFOX6) vs. 手術単独によるランダム化II/III相試験(JCOG0603)	渡邊昌彦	外科	15万	厚生労働科学研究費補助金
進行性大腸がんに対する低侵襲治療法の確立に関する研究	佐藤武郎	外科	84万	補) 厚生労働省 <がん臨床> 委
胃癌の機能温存手術—残胃後壁打ち抜き・全器械吻合による幽門保存胃切除術の評価—についての研究	桜本信一	外科	13,5万	補) (財) かな がわ健康財団 委
肝癌に対する腹腔鏡下肝切除後の肝癌再発抑制効果の研究	古田一徳	外科	9万	補) (財) かな がわ健康財団 委
コラーゲン合成制御によるスキルス胃癌間質の線維化、硬化抑制に関する基礎的研究	菊池史郎	外科	70万	補) 文部科学省 <基礎研究C> 委

外科計 9件

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1. 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元
急性循環障害時におけるトロンボキサンA2の血管新生増強メカニズムの解析	天野英樹	呼吸器外科	170万	③ 独立行政法人 日本学術振興会
病態時の脈管動態の分子基盤と治療への応用	天野英樹	呼吸器外科	50万	③ 文部科学省「ハイテク・リサーチ・センター整備事業」
			万	補 委
			万	補 委
			万	補 委
			万	補 委
			万	補 委

呼吸器外科計 2件

- [注] 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1. 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元
急性高度難聴に関する調査研究	岡本牧人	耳鼻咽喉科	110万	補 厚生労働省 委
新生児・乳幼児難聴の診断および療育に関する研究	岡本牧人	耳鼻咽喉科	100万	補 厚生労働省 委
下咽頭癌の浸潤転移を規定する既存・新規分子の発現と予後との関連性	中山明仁	耳鼻咽喉科	80万	補 文部科学省 委
抗利尿ホルモン投与による聴覚低下動物における蝸牛血管条、外側壁病変の解析	長沼英明	耳鼻咽喉科	150万	補 文部科学省 委
扁桃における糖鎖不全IgA産生メカニズムの解明	伊藤昭彦	耳鼻咽喉科	160万	補 文部科学省 委
モルモット咽頭粘膜および輪状咽頭筋におけるニューペプチドの動態に関する研究	横堀 学	耳鼻咽喉科	70万	補 文部科学省 委

耳鼻咽喉科計 6件

- [注] 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1. 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元
難治性疾患克服研究事業 特発性心筋症に関する 調査研究	和泉 徹	循環器内科	140万	(補) 厚生労働省 委
循環器病研究委託事業 高齢者心不全の治療戦 略に関する研究 分担研究課題名：北里 大学における日常臨床 データに基づく高齢者 心不全の発症・進展に 関する新しい因子およ び治療法の解析	和泉 徹	循環器内科	80万	補 (委) 国立循環器 病センター
イオンチャネル再生療 法による心不全制御の 実験的研究	庭野 慎一	循環器内科	90万	(補) 独立行政法 人日本学術振興会 委
重症虚血肢に対する PUVA療法の有効性につ いての検討	東條 大輝	循環器内科	120万	(補) 独立行政法 人日本学術振興会 委
心筋リモデリングにお けるIQGAP1の役割	東條 美奈子	循環器内科	150万	(補) 独立行政法 人日本学術振興会 委

循環器内科計 5件

- [注] 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1. 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元
川崎病の病因解明と新しい効果的な治療法の開発：分子遺伝学的基盤の検討	石井 正浩	小児科学	169 万	補 文部科学省 委
小児1型糖尿病の発症感受性遺伝子の検討－発症リスクを予測に、早期介入は可能か？－	田久保憲行	小児科学	50 万	補 文部科学省 委
未熟児低血糖症の新たな病態解明（アクアポリングリセロールの輸送体の関与）	柴山 啓子	小児科学	247 万	補 文部科学省 委
小児期肥満から成人病への進行抑制：動脈硬化病変の定量的評価と効果的治療法の開発	石井 正浩	小児科学	100 万	補 先進医薬研究振興財団 委
小児肥満が動脈硬化病変への進行に与える影響：動脈硬化病変への進行の定量的評価と効果的治療法の開発	石井 正浩	小児科学	100 万	補 三井生命厚生事業団 委

小児科計 5件

- [注] 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1. 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元
片頭痛に対する画期的 治療法の開発に関する 研究	坂井 文彦	神経内科	1,000万	補：厚生労働科学 研究費補助金
			万	委 補
			万	委 補
			万	委 補
			万	委 補
			万	委 補
			万	委 補
			万	委 補
			万	委 補

神経内科計 1件

- [注] 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。